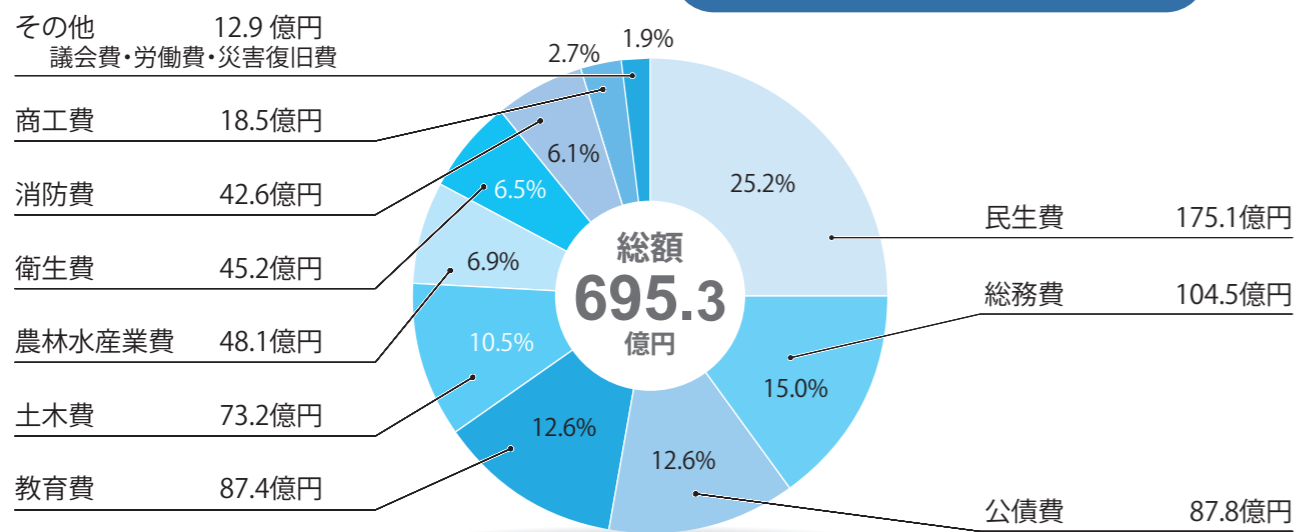
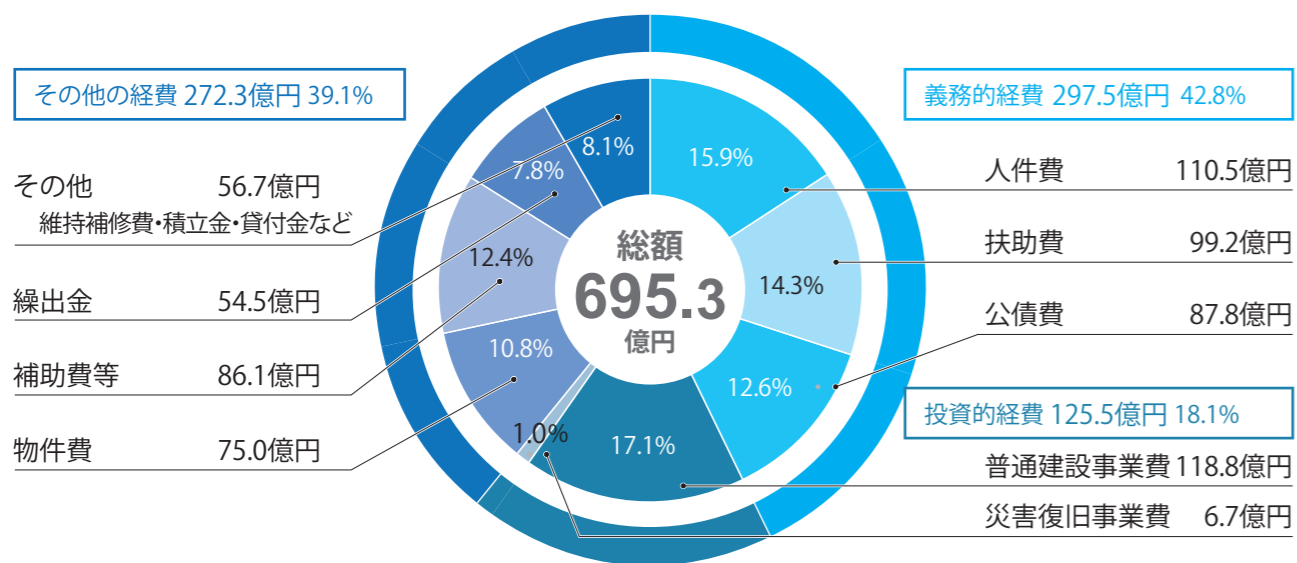


決算

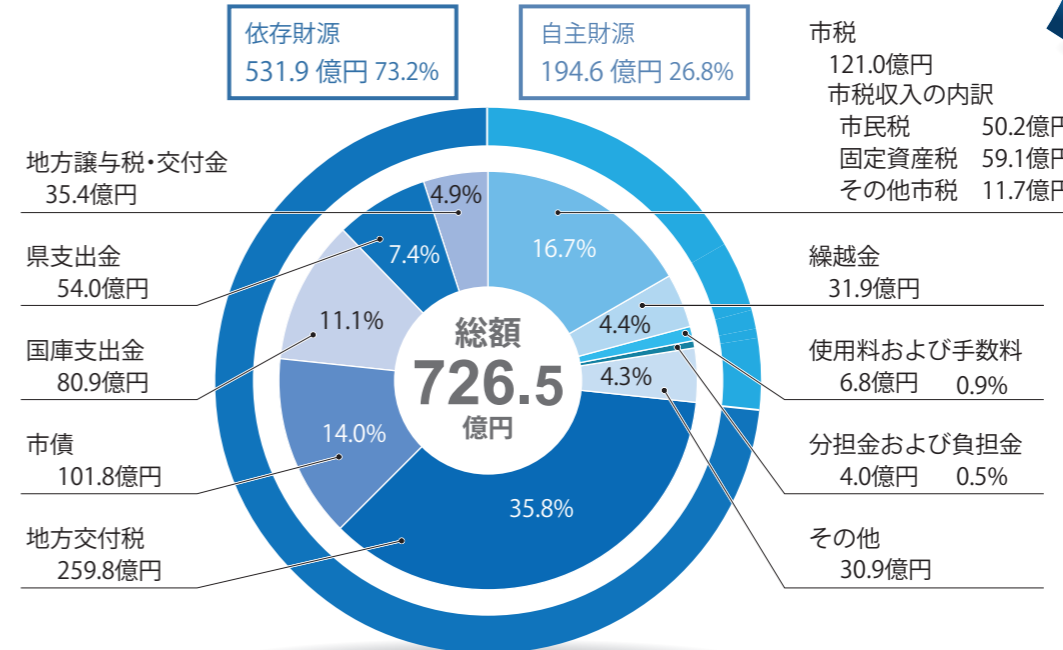
歳出(普通会計・目的別) 図2



歳出(普通会計・性質別) 図3



歳入(普通会計) 図1



27年度市の財政状況

27年度決算の概要と、総務省が実施する「地方財政状況調査」による普通会計の決算の状況をお知らせします。「地方財政状況調査」は他の市町村と比較できるように、共通の基準で調整したものです。

27年度会計別の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
● 一般会計	725億2,573万円	694億554万円	31億2,019万円
● 国民健康保険(事業勘定)	151億9,129万円	150億1,413万円	1億7,716万円
● 国民健康保険(直診勘定)	5億1,675万円	5億1,608万円	67万円
● 後期高齢者医療	11億9,180万円	11億9,076万円	104万円
● 介護サービス事業	3,831万円	3,831万円	0
● 金沢財産区	625万円	625万円	0
● 都市施設等管理	1億5,121万円	1億5,121万円	0
● 工業団地整備事業	829万円	829万円	0
● 市営バス事業	1億6,903万円	1億6,903万円	0
● 簡易水道事業	23億9,283万円	23億9,246万円	37万円
● 下水道事業	33億9,505万円	33億5,108万円	4,397万円
● 農業集落排水事業	4億416万円	4億414万円	2万円
● 浄化槽事業	1億6,494万円	1億6,489万円	5万円
● 物品調達	2,938万円	2,877万円	61万円
合計	961億8,503万円	928億4,094万円	33億4,409万円

普通会計とは、一般会計に金沢財産区特別会計、都市施設等管理特別会計、工業団地整備事業特別会計、市営バス事業特別会計、物品調達特別会計を合わせたものから、一般会計と各特別会計間の歳入歳出の重複分を相殺したものをいいます。
*金額は1万円未満の数を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります

27年度の歳入と歳出

「予算」は1年間に入ってくるお金(歳入)と使うお金(歳出)の見積り(歳入)と使うお金の差額(歳出)を調整するために交付される「地方交付税」があります。

市税や使用料など、市が独自に収入できるものを「自主財源」、国や県の制度によって収入できるものを「依存財源」といい、安定した財政運営のためには、自主財源の確保が必要不可欠です。

また、歳出には、「目的別」(図2)と「性質別」(図3)という分類があり、「目的別経費」は、経費の目的に着目して分類したもので、子育て支援や生活保護(民生費)、道路や公園の整備(土木費)などに分類しています。

「性質別経費」は、経費の性質に応じて分類したもので、財政運営の健全性や弾力性の分析に適しています。